

# 第61回鹿児島県高等学校新人空手道競技大会 (全国選抜九州地区大会予選) 要項

- 1 主催 鹿児島県高等学校体育連盟・鹿児島県教育委員会
- 2 後援 公益財団法人鹿児島県スポーツ協会・一般社団法人鹿児島県空手道連盟
- 3 主管 鹿児島県高等学校体育連盟空手道競技専門部
- 4 期日 令和8年10月9日(金)・10日(土) 集合 8時45分 開始 9時10分
- 5 会場 鹿児島県総合体育センター体育館
- 6 競技規則 公益財団法人全日本空手道連盟競技規定並びに審判規定  
全国高等学校体育連盟空手道専門部規定
- 7 競技方法 第1日目 個人形(第1R, 第2R, 決勝トーナメント), 団体形(予選, 決勝),  
団体組手(5人制, 3人制)  
第2日目 個人組手

## 8 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届けること。

【参考】引率が認められる職員とは、校長・教頭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・講師(常勤)・部活動指導員・実習助手である。ただし、実習助手については、以下の条件を全て満たし、校長が承認した者である。

- 1 正規職員であること
  - 2 当該部活動の指導を常時行っていること
  - 3 教員免許状の普通免許状を有していること又は免許法認定講習等で生徒指導に関する単位を1単位以上取得し、かつ6年以上の勤務経験があること
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。但し、(2)について全国高等学校体育連盟各競技専門部における別途規定が定められている場合は、その規定に従うことを原則とする。

## 9 参加資格

- (1) 本年度県高体連加盟校在籍学生で1・2年生に限る。但し、休学中・留学中の生徒は除く。
- (2) 年齢は平成20(2008)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (4) 複数校合同チームの大会参加については、本連盟が別途定める「複数校合同チーム大会参加規程」に従う。
- (5) 転校・転籍後6か月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りでない。(「大会出場許可申請書」を提出すること。)
- (6) 参加する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (7) その他の事項については、上位大会実施要項に準ずる。
- (8) 参加資格の特例による学校(生徒)の参加については、鹿児島県高等学校新人体育大会開催基準要項の「参加資格の特例」並びに「大会参加資格の別途に定める規定」のとおりとする。
- (9) 外国人留学生の参加については、団体は正選手の過半数を超えない範囲で出場を認める。個人は参加制限しない。

## 10 参加制限

- (1) 団体戦
- (2) 個人戦

## 11 参加申込

参加申込みに際しては、「鹿児島県高等学校技総合体育大会・鹿児島県高等学校新人体育大会における個人情報保護及び肖像権に関わる取扱いについて」を承諾した上で申し込むものとする。

- (1) 申込締切日 令和8年9月16日(水)15:00までに必着
- (2) 申込方法 当該学校長の責任において、所定の参加申込書により1部作成し、作成した参加申込書をPDF化し、PDF化したファイルを指定のファイル送信システムにアップロードして申し込む。  
また、選手名簿のデータ(エクセルファイル)を下記アドレスに送信する。  
専門委員 高橋宏幸(加治木工業高校) [takahashi-hiroyuki@kago.ed.jp]
- (3) 申込先 県高等学校体育連盟事務局が指定するファイル送信システム
- (4) 参加申込書提出後に出場を辞退しなくならなかった場合は、速やかに専門委員長に連絡をし、大会出場辞退届を県高体連事務局に提出する。

## 12 大会参加負担金

- (1) 参加申込生徒一人当たり500円とし、参加申込書に記載された選手数(マネージャー等は除く。)を乗じた額とする。なお、大会直前に選手の追加があった場合は、選手数に加える。
- (2) 団体戦と個人戦を実施する競技については、参加を予定とする実人数とする。(重複しての徴収はしない。)
- (3) 大会参加申込後に体調不良等により大会に参加しなかった選手がいても、参加申込書に記載された選手数分の金額を徴収する。
- (4) 大会参加負担金は、後日、高体連事務局から各学校に請求する。

## 13 競技種目

団体組手(5人制・3人制)、団体形、個人組手、個人形

## 14 表彰

団体組手(5人制)・団体形4位、団体組手(3人制)3位、個人組手各階級2位、個人形4位まで表彰する。

## 15 採点方法

公益財団法人全日本空手道連盟競技規定、及び全国高等学校体育連盟空手道競技申し合わせ事項に則って行う。

## 16 監督会議

- (1) 日時 10月9日(金) 8時45分～
- (2) 会場 鹿児島県総合体育センター体育館

## 17 組合せ

9月18日(金)午前9時から加治木工業高校(予定)において専門部で組合せを行う。各チームの監督は組合せ会に出席してもよい。組合せ結果は、県高体連事務局ホームページに掲載する。

## 18 組手競技

- (1) 団体組手について(5人制, 3人制共通)
  - ① 団体組手は5人制と3人制のいずれか一方のみ参加することができる。
  - ② 登録されたメンバーの中で、試合毎にオーダーの交替ができる。
  - ③ 団体組手の出場人数が同じ場合、オーダー順は前から詰める。
  - ④ 団体組手の出場人数が異なる場合、オーダー順は人数の多い学校が前から詰めて、人数の少ない学校が相手チームの人数内でオーダーを組むことができる。
  - ⑤ 団体組手競技で一度負傷によって棄権した選手は、当日以後の団体組手競技には出場できないが、個人組手には出場できる。
  - ⑥ 出場校数に応じて、リーグ戦またはトーナメント戦で行う。トーナメント戦で行う場合は上位4チームで決勝リーグを行う。

【 5人制について 】

- ⑦ 男子5名（補欠3名）、女子5名（補欠3名）とする。
- ⑧ 5人制は規定の5人に満たない場合でも過半数（3人）の選手で成立する。

【 3人制について 】

- ⑨ 男子3名（補欠1名）、女子3名（補欠1名）とする。
- ⑩ 規定の3人に満たない場合でも過半数（2人）の選手で成立する。

(2) 個人組手について

- ① 1校6名以内とする。ただし、補欠は認めない。
- ② 男女共に5階級の体重制とし、階級表は以下の通りとする。なお、1つの階級のエントリー数の上限は4名とする。

男子個人組手		
A	-55Kg級	56.0Kg未満
B	-61Kg級	55.0Kg以上62.0Kg未満
C	-68Kg級	61.0Kg以上69.0Kg未満
D	-76Kg級	68.0Kg以上77.0Kg未満
E	+76Kg級	76.0Kg以上
女子個人組手		
A	-48Kg級	49.0Kg未満
B	-53Kg級	48.0Kg以上54.0Kg未満
C	-59Kg級	53.0Kg以上60.0Kg未満
D	-66Kg級	59.0Kg以上67.0Kg未満
E	+66Kg級	66.0Kg以上

着衣分として、0.5kgと計測器測定値幅として、±0.5kgを考慮した、当日の測定値幅を左記のように定める。  
計量は1日目の午前中に行う。  
なお、団体・個人形競技出場者は競技終了後に行う。

- ③ 計量の服装は男女ともに上衣はTシャツ(半袖)、下衣はスパッツ(ハーフサイズ)・ハーフパンツとする。包帯、サポーター等の着用は一切認めない。
- ④ 計量をパスしなかった場合は「棄権」となり、個人戦には出場できない。ただし、団体戦には出場できる。

(3) 安全具（高体連指定）の着用

女子：ニューメンフォー・拳サポーター・ボディプロテクター・シンガード・インステップガードの5点セット

男子：女子の安全具にセーフティカップを加えた6点セット

(4) 安全具の不備な選手は参加を認めない。

19 形 競 技

- (1) 大会で使用する形は全空連「競技形リスト」（2025年4月1日運用開始）から選ばなければならない。
- (2) 個人形は1校2名以内とし、補欠は認めない。第1・2Rは指定形（同一の形を可とする）、決勝トーナメント準決勝・決勝は第1・2Rで演武した形以外の得意形（同一の形を可とする）の中から選ぶ。  
※ 第1R・第2R：得点制（最高・最低を除いた合計点の大きい方が勝者）  
決勝トーナメント：フラッグ制（旗判定、獲得本数の多い方が勝者）
- (3) 団体形は、男子3名（補欠3名）、女子3名（補欠3名）で得点制（最高・最低を除いた合計点の大きい方が勝者）とする。予選は指定形、決勝は予選で演武した形以外の得意形の中から選ぶ。
- (4) 個人形第1R（団体形予選）で同点があった場合は、再試合をせずに個人形第2R（団体形決勝）へ進出させる。第2R（決勝）の1位から4位以内で同点があった場合は、再試合（最高・最低を除いた合計点の大きい方が勝者）を行う。その際の形は、第2R（決勝）で演武しなかった得意形または指定形とする。なお、第1R（予選）で演武した形を選んでもよい。

## 20 その他

### (1) 九州大会の出場について

団体組手（5人制）・団体形4位，団体組手（3人制）2位，個人組手各階級1位と2位または3位(階級のエントリー数に応じて出場数を決定)，個人形4位まで。

※ 団体組手（5人制）が4校に満たない場合，団体組手（3人制）で九州大会出場権を得られなかった成績上位校（選手数が3人以上いる学校に限る）に5人制への上場権を付与することもある（監督会議で決定）。また，団体組手（3人制）が2校に満たない場合，団体組手（5人制）で九州大会出場権を得られなかった成績上位校に3人制への上場権を付与することもある（監督会議で決定）。棄権に伴う繰上げ出場は認めない。

### (2) 競技者の道衣は純白とし，左胸に校名，左肩に県名を必ずつける。その際の校名，県名は黒，紺，スクールカラーとする。道着に入れる氏名は黒色のみとする。また，背中には全国高体連空手道専門部指定のゼッケンを縫い付けなければならない。

※ ゼッケンに関する問合せ先：専門委員 山元大樹（鶴丸高校）※昨年度と変更

### (3) 決められた場所（胸の学校名，袖の県名，上着・下着の名前）以外に刺繍することは禁止とする。名前を入れる場合は，自分の姓（名字）またはフルネームが望ましい。

### (4) 上着は必ず脇に紐のあるものを着用する（胸紐は付けない）。袖の長さは手首までとし，前腕の中ほどより短くてはならない。上着の袖をまくり上げてはならない。ズボンの長さは，踝がかくれてはならない。少なくとも下肢の3分の2を覆うほどの長さとし，裾をまくり上げてはならない。また，空手道衣の袖の空き，ズボンの空きは8～20cmでなければならない。

### (5) 帯でウエストを締めたときの上着の長さは，腰を覆うほどの長さとし，大腿部の4分の3までとする。運用としては，帯を締めた状態で真直ぐに下ろした時の上着の長さが膝上10 cmまでとする。

### (6) 申込書不備の学校，個人については申込みを受け付けない。

### (7) 選手の頭髪等：染毛，パーマ，極端な長髪は禁止する。（女子はヘアピン，リボンを禁止する。）

### (8) 健康管理

① 競技中の傷害等の応急処置は主催者側で行うが，その後の責任は負わない。

② 故障者については，監督の責任で出場を取り止めること。

③ 参加者は健康保険証を持参すること。

### (9) 眼鏡での出場は認めない。ただし，コンタクトレンズ（ソフト）は認める。

### (10) 会場や観覧席を汚さないよう各校とも責任をもって処理すること。